



(株)サン・エナジー石巻 代表取締役社長

松谷 芳信

「石巻泊浜太陽光発電所」は平成24年7月に東日本大震災の地域復興と活性化を担い、未曾有の大惨事に見舞われた宮城県東部牡鹿半島泊地区に「牡鹿愛ランド特区」の認定を受け、平成26年4月より運用開始、順調に発電し現在に至っております。地球に降り注ぐ太陽光エネルギーを電力に変換するプロセスにおいては殆ど二酸化炭素を発生することなく「地球温暖化対策」としても一翼を担っております。震災から10年が経過しましたが、私たちの太陽光発電所が皆様の未来へとつながっていく想いをもって事業に邁進してまいります。今後とも益々のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



初代社長 松川二男氏

「石巻泊浜太陽光発電所」の立上げから携わり、自身も津波の被害を受けた中で精力的に活動し、また遊休農地の活用と地域の雇用を生み出すために地権者との交渉や許認可協議などにも尽力しました。発電所が完成した翌年の平成27年5月30日に永眠しました。

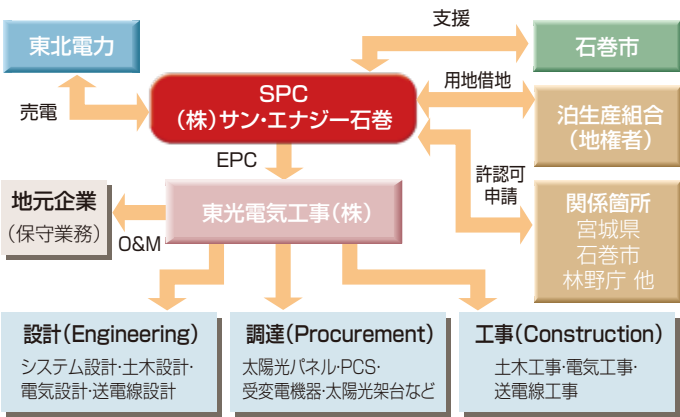
発電所概要

運 営 母 体	SPC(株式会社 サン・エナジー石巻)
事 業 地	宮城県石巻市泊浜岸下山地内
発 電 規 模	9.5MW(モジュール:11.2MW)
設 備 認 定	平成24年8月6日 (運用開始日 平成26年4月1日)
変 電 所	6.6kV／66kV
送 電 線	66kV 2.0km
連 系	東北電力(株)殿 66kV 鮎川線 NO.53に接続

特 色

- ・SPCの構成会社は、地元企業や地権者である泊生産組合が中心であるため、地域の事業としての太陽光発電所です。
- ・太陽光発電所の地域貢献を推進するため、発電所の管理車両に電気自動車を活用しています。
- ・石巻市と立地協定に基づき、地域の巡回パトロール活動を実施、災害想定箇所の事前把握を行うとともに地域の防災意識の高揚に寄与する活動をします。
- ・石巻市支援
石巻市の復興計画における再生エネルギー活用施策とし、市より支援をいただきます。

プロジェクト構成



SPC概要



発電サイト(メンテナンス用電気自動車)



地元メンテナンス会社(株泊環境)

設備の特徴

監視設備

変電所内設備に監視端末(パソコン)を設置しPCSなどに対し運転/停止制御を行う。また、インターネットにより遠方の事務所・会社で運転状況を監視する。故障発生時は、メールにて発生した故障内容を送信。



保安設備

Webカメラにより、出入口・変電設備・パネル状況を監視する。



災害防止パトロール

発電所の保守管理要員が定期的に地域を巡回し、災害想定箇所を事前に把握し、石巻市と連携して、災害発生の未然防止に努める。

システム構成

